

# 令和3年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立南紀高等学校（通信制） 学校長名：坂本 真理

|  |  |
|--|--|
| めざす学校像<br>育てたい生徒像                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が誇りを持ち、地域に信頼され愛される学校</li> <li>自己肯定感を持ち、科学的に考え、他者と協働できる生徒</li> </ul>   |
| 本年度の重点目標<br>(学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する) | <ol style="list-style-type: none"> <li>人間力の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身に付けさせ、自律的な生活態度を養う</li> <li>自己肯定感を育てる</li> <li>社会の形成者としての自覚を高める</li> </ul> </li> <li>学力の向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>わかる授業の実施</li> <li>基礎学力の定着</li> <li>生徒の自己教育力を高める</li> </ul> </li> <li>自律的な生徒の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の励行</li> <li>いじめ、体罰の根絶</li> <li>人権教育の推進</li> </ul> </li> </ol> |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 中期的な目標             | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動へのユニバーサルデザインの導入と定着</li> <li>遠隔システムを確立、発展させる取組</li> <li>教職員研修の機会拡大と実践への反映</li> </ul> |
| 学校評価の結果と改善方策の公表の方法 | 学校運営協議会において分析と説明をし、指導助言をいただくとともに、教育振興会においても評価結果を報告し、ホームページに公表する。   |

|     |   |                  |
|-----|---|------------------|
| 達成度 | A | 十分に達成した。(80%以上)  |
|     | B | 概ね達成した。(60%以上)   |
|     | C | あまり十分でない。(40%以上) |
|     | D | 不十分である。(40%未満)   |

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。  
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

| 自己評価 |  |  |   |   | 年度評価 (2月17日現在) |   |  |
|------|--|--|---|---|----------------|---|--|
| 重点目標 |  |  |   |   | 評価項目の達成状況      |   |  |
| 番号   | 現状と課題  | 評価項目   | 具体的取組   | 評価指標  | 達成度            | 次年度への課題と改善方策  |  |
| 1    | 通信制課程には、田辺学級、新宮学級ともに不登校をはじめ多様な課題を持って入学してくる生徒が多い。集団の中で学習することが困難な生徒もいる。学力的な課題だけでなく、障害や病気を抱える生徒、子育て中の生徒もおり、全般的に学習習慣の確立が不十分な状況にある。将来への目的意識と学習習慣を身に付けさせることが課題である。 | 面接指導の展開や内容を工夫し、課題レポートの課題についても基本的な学力の定着に向けて十分に取組んでいるか。また、職業観を育成するキャリア教育を行っているか。生徒の状況に応じて適切な支援を行っているか。 | 面接指導において、一人一人の学習進度や学力に応じてきめ細かく指導する。生徒の多様な事情に対応し、学習の機会を保障するため、今年度も夜間スクーリングを実施する。<br>子育て中の生徒の学習を支援するため、今年度も校内の託児室の活用・充実を図る。<br>職業観や人生観を深めるため、職業体験学習や進路講演会を積極的に実施し、進路だよりをこまめに発行する。 | 生徒の出席状況とレポートの提出回数、面接指導を通じ、生徒のニーズを明確にする。<br>ニーズに対し適切な指導の在り方を確認する。<br>子育て中の生徒のレポート進捗状況や単位修得率を把握する。<br>進路状況調査を実施し、結果を検証する。<br>進路だよりの発行回数を増やす。      | A              | 視覚障害のある生徒対応のため、校内に目印(黄色のライン)や雨天用マットを設置したり、各教科のレポートやテストを見やすい形に作り直した。また、和歌山盲学校の先生に協力していただき進路について面談を実施した。昨年度、県の「わかやまひとり親家庭アシスト事業」を活用し田辺学級に開設した託児ルームを今年度も継承し、3名の生徒が利用した。進路については、例年通りの全体指導を行い、学校推薦希望の生徒には粘り強くきめ細かい指導を続け、成果を出せた。                      |  |
| 2    | 紀南地方における定時制通信制の拠点校として、また南紀高校自体の活性化に向け、現在のシステムの改善を目指す。課題について、活用できる情報の収集や、保護者や地域に向けた広報活動が十分に行われているか。   | 通信制のシステムや教育課程について、積極的に改善点を検討しているか。課題について、活用できる情報の収集や、保護者や地域に向けた広報活動が十分に行われているか。                      | 他の定時制通信制拠点校と連携して情報共有し、参考になる取組事例の交流を図る。<br>課題について理解を得るため、保護者や地域との連携を深める。<br>ICT教育システムを活用した教育課程を工夫する。<br>各中学校や高等学校、地域での通信制に対する認知度を高めるため、広報活動を充実する。                                | 現在のシステムを改善する手がかかりとして活用する。<br>保護者懇談会を実施する。<br>地域専門員等連携機関と会議を持つ。<br>新宮学級への遠隔指導について、よりきめ細かい学習指導等ができるよう研究を続ける。<br>新入学や転編入学の案内を工夫し、広報活動を積極的に行う。      | B              | 新宮学級生徒の学習指導や行事の同時開催等に遠隔通信システムをより充実させた。6月の生徒総会の様子は和歌山テレビ「はばたく紀の国」でも放送され、反響が大きかった。また、今年度からマイクロソフトのTeamsを活用し、生徒への情報発信や連絡、アンケート等にも活用した。今後も活用研究を行い、よりDX(デジタルトランスフォーメーション)化を進めていきたい。保護者懇談会を年間3回行い、情報共有した。また、転編入・新入学希望の中高生と保護者のスクーリング見学を随時受け入れ、広報に努めた。 |  |
| 3    | 社会性や対人関係能力が不足し、家庭での基本的な生活習慣が確立していない場合もあるため、社会規範や生活のルール・マナーに対する指導をはじめきめ細かい対応が必要とされる。  | 個々の生徒を十分理解した上での指導をしているか。また、保護者や地域との連携を深めるとともに、十分な信頼関係を構築できているか。                                      | 生徒理解を深めるため、面談等によりコミュニケーションを積極的に図る。<br>行事等を活用して社会性や規範意識を高める。<br>生徒自身が通信制のシステムを最大限活用できるよう、丁寧な情報提供に努める。  | 面接指導を工夫する。<br>スクーリングを活用し、定期的に面接する。<br>生徒に行事への参加を促し、集団の中でルールを意識した活動をさせる。<br>「南紀通信」「マンスリータイムズ」やHPを通じ、積極的に情報を発信する。<br>単位修得に向けた年間スケジュールを意識させる取組を行う。 | A              | きめ細かな面談や電話連絡等で生徒理解を深め、その情報を共有することで組織で対応することが出来た。昨年実施できなかった春季・秋季学習会が実施でき、共同学習・生徒交流の場を持つことが出来た。毎週発行の「南紀通信」のほか「教務便り」や「進路便り」などを定期的に郵送するとともに、HPを活用して情報を漏れのないように発信した。また、今年度からはTeamsも活用した。   |  |

| 学校関係者評価   |  |
|---|--|
| 令和4年2月17日実施   |  |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域とのつながりが今後、求められると思います。例えば、交通安全指導(田辺市では、毎月1日、15日に登校指導の実施)、学校周辺の美化運動、令和5年3月花いっぱい田辺大会への取組等、できることから少しずつ進められたらと思います。</li> <li>授業参観をさせていただき、PCを活用し大変工夫されており、生徒も落ち着いた学習環境の中で集中して学習していると感じました。また、校舎内もいつも美しく、掲示物にも生徒の学びの様子が見てとれ、学校全体で学びの環境に取り組んでいると思いました。</li> <li>マンスリータイムズ等を所在地の回覧板等を使って広報してはいかがでしょうか?</li> <li>生徒たちが一人でも多く、社会人として生きていける「力」が身につけてくれればと思います。</li> <li>多様化する社会において、重要な位置づけの学校だと思っています。独自の教育活動を推進されることを希望します。</li> <li>ご多用とは存じますが、生徒のため「できることを精いっぱい」にお取り組みいただければと思います。</li> <li>日々のご熱心な教育活動に接し、南紀高校の生徒さんは幸せだと思います。</li> <li>南紀高校の教職員の皆様は、大変頑張っておられます。</li> </ul> |  |

